

<p>⑤</p> <p>⑥</p>	<p>○文字や絵をかくことに関心がある。書いたものをほめながら本人への接近を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 黒板に自分の名前をかき、小さな声で読む。ほめると笑みをうかべる。 • 電話遊びをしながら、運動会の様子を聞くと、小さな声で話す。表情は明るい。活発な動きがみられない。 	<p>○口をきくことを強要しないで、安心した生活をさせる。さらに一緒に遊び、子供の気持ちを理解するように導く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 父親の本人との接触に努力のあとがみられる。一緒にでかけたり遊んだりしている。 • 父になつくようになり、休日には両親とハイキングに出かける。 	<p>○声かけを続ける。学級の係として話さなくてもできる「花の水くれ」係にしてできた時は、ほめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一日中、座っている。授業中はノートもとらない。体育にも参加せず、テストをわたしても書かない。 • 好きな人をたずねると「Hさん」の絵をかき、もってくる。ほめると視線があう。Hと組ませる。 • ラポートがとれてくる。 • 体育をする。 • 清掃をはじめられるようになる。 • 運動会に参加できる。
-------------------	---	---	---